



本会議を市役所ロビー（本庁舎1階）のテレビや市議会ホームページでご覧いただけます

一般質問

市民の声を反映

令和3年第2回定例会では、15人の議員が一般質問を行いました。質問と答弁を要約してお知らせします。

社会的孤立防止の体制整備を



公明党議員団
熊谷佐和美

問

コロナ禍が長引く中、生活困窮や社会的孤立が広がってきている。緊急事態宣言の延長を踏まえ、生活困窮の市民を対象とする①緊急小口資金特例貸付②総合支援資金特例貸付③住居確保給付金の申請期間が延長されているが、利用状況は。迅速かつ丁寧な情報提供を。

答

①現在までの累計で552件、1億988万円②同じく818件、4億4635万円③2年度は18世帯に219万1800円、3年度は現時点で4世帯に24万9000円を支給。

問

社会福祉法改正で、4月から重層的支援体制整備事業が創設され、本人や家族を包括的に支援する体制整備が市町村の任意事業とされた。庁内・庁外の連携体制整備に着手し、事業に積極的に取り組む、コロナ禍において誰一人置き去りにしないという姿勢を示すべきでは。

答

複雑・複合化する市民課題に対応すべく制度化されたものの。市も各分野の相談窓口が縦に横に連携しながら課題解決に努めている。市がどのように事業を受け入れていくかを検証して、本市の工夫で国が求める制度に近づけ、制度の狭間で困窮する人を誰一人取り残さないよう日々研さんしたい。

新名神用地で太陽光発電事業は



公明党議員団
増田 貴

問

市内の視覚障がい者から、近鉄寺田駅西側のロータリー整備に伴い、歩道の点字ブロックが撤去され、歩行に支障を来している」と相談を受けた。①

問

2050年の脱炭素社会実現のため、再生可能エネルギー導入拡大に向けて、東部丘陵地内で新名神高速道路南側のり面を利用した太陽光発電事業の構想は。

答

東部丘陵地では、分散型エネルギーインフラプロジェクト・マスタープランを策定する中で、太陽光発電事業も想定。占有許可や維持管理、走行安全性の確保等の条件整理や事業採算性が課題となるが、民間事業者からの声があれば、NEXCO西日本と設置可否を含めて協議・調整したい。

答

①国が定める法律やガイドライン、府・市の条例に基づき適切に設置②市の工事で点字ブロックを設置